

### 3 図書館協議会による図書館運営全体に対する評価(委員長とりまとめ)

個人貸出冊数が7年連続で過去最高を更新したことについては、利用者が図書館を必要としていることの表れとして高く評価される。新規登録者が減少傾向にあること、及び、入館者数が前年度より増加したものの目標値に至らなかった状況について、協議会としては「量ではなく質的に満足度の高いサービスを提供するための改善や工夫をする」という館長の方針に賛同する。「エントランスでのミニギャラリーは、図書館へ行く楽しみの一つである。企画も大変だろうが続けて欲しい」という意見も出されており、このような着実な取り組みを期待している。次年度の、図書館情報システムの更新や大規模修繕、蔵書点検にともなう臨時休館日については、利用者の理解や了承を得るための対応が望まれる。

他に、協議会委員から以下のような意見や提案が出されており、図書館での検討を求めたい。

- ・ボランティアの皆さんから、いつまでも気持ちよく協力してもらえるように、図書館から感謝の気持ちを形で表すことを忘れないで欲しい。
- ・来年度からの対面朗読サービスによって、より一層開かれた図書館に発展することを期待する。また「高齢になって目が不自由になったけれど本を読みたい」という話もよく聞かれることから、対面朗読サービスは、高齢者サービスとして位置づけられることも希望する。併せて、目の不自由な子どもたちが、絵本の読み聞かせや歌あそびなどに参加出来るようにすることも望ましいと思う。
- ・土日の閉館時間は午後5時であるが、少なくとも土曜については午後7時までの開館を検討してみてもよいのではないか。

最後に、充実した図書館サービスを提供するためには、何よりも予算と職員体制の充実が必要不可欠である。両者の増額と増員を強く求めたい。なお、現在の職員の取り組みが、新潟県庁で実施している表彰制度「改善実践報告」における知事賞と最多報告賞の2年連続での受賞という形で、広く認められたことは大変喜ばしいと考えている。

以上